

# 福島の親子 町田の森あそびリアー

第7弾 報告書

～はらっぱらっぱ♡5月のキャンプおたまじゃくしと一緒に唄おう♡～

2016年4月29日(金)～5月1日(日) 町田市・大地沢青少年センター



福島からの参加者 大人18人 子ども25人 計43人  
ご協力いただいたボランティア のべ124人  
かかった費用 約65万円(うちバス代47万円、食材費15万円)

## 《おもなスケジュール》

### ●4/29(金・祝) 1日目

朝 福島各地で集合・乗車  
14時過ぎ 大地沢到着  
子どもはさっそく外遊び  
おとなは食堂でオリエン  
18時 夕ご飯  
夜 お風呂、就寝

### ●4/30(土) 2日目

8時 朝ごはん  
9時 子どもは外遊び  
大人はリフレクソロジーでリフレ  
ッシュ  
12時 昼ごはん  
13時 ダンスの練習タイム  
鶴川の子どもたちが企画してくれた  
カブトムシの幼虫探し  
15時 子どもにゼラートプレゼント  
15時半 おやこ蕎麦打ち教室  
17時半 ちょっと早めの夕ご飯  
18時半 キャンプファイヤー  
夜 お風呂、就寝

### ●5/1(日) 3日目

8時 朝ごはん  
9時 子どもは外遊び  
10時 チェックアウト  
11時 記念撮影、大地沢出発  
夕方 福島到着、帰宅



今年もおたまじゃくしは  
大人気のどこどこ？



かぶと虫の幼虫  
ワクワクしながら探したよ



ごはんの時間も楽しいね  
いただきます

# ☆緑のなかで 笑顔がはじける☆



平均台じゃんけんに  
夢中です



アゲアゲダンスも  
楽しかった(^\_^)



おかあさんの  
ゆったり笑顔



はじめての  
蕎麦打ち体験



ジェラート  
おいしいなあ〜



キャンプファイヤー  
炎も踊ってるね



バイバイ、  
また会おうね

## 《福島のお母さんの話を聞く時間》 ～お話を聞いたみなさんから～

### 福島のお母さん達のお話を聞いて

初めて、福島の、自分と同世代のお母さん方からお話を聞く会に参加させていただきました。

まず、揺れが来たときからの実際、何をしていたかをお話頂き、テレビや放送もないまま、電気水道ガスが止まり、水の買いおきや、お風呂のお水が残っていて助かったことなど水の大切さを感じました。テレビやラジオで聞いていた事よりも、給水ひとつにしても大変だった事を感じました。

何より印象に残ったことはお子さん達に対しての心配や、果たして正しい行動をできたのかを話される時の皆さんの顔が一気に悲しい表情になられたことです。

本来なら、子供の成長をただただ楽しめる時期。それを、奪われた現実。いまだ外で思いきり遊ばせられない事や、食べ物、震災前にはなかった放射能という言葉の存在。自分も自分の子を守ろうとしていたあの時は、この離れた場所でさえ翻弄していました。

今回お話を聞かせていただいて、福島のお母さん方が、愛情を持ってお子さん達にできる精一杯の事をしたその行動に頭が下がりました。今をそしてこれからを考えて生きていくためには、福島のお母さん達と一緒に考えていきたいと強く感じました。

そしてこちらのママ友にも今回の話をさせていただいて日本のママたちがよい未来を作っていけたらと思いました。(女性・福島のお母さんのお話を聞く時間に参加)

### 福島の現状を知る機会になりました

たくさん子どもたちと遊べて、笑顔が見れて、本当に楽しかったです。子どもと遊ぶ時間も自分にとってとても勉強になりましたが、なにより、福島に今も住まわれているお母様方のお話を聞けたのが、勉強になりました。様々なお話を、涙を流しながらお話していただき、改めて、「知る」ということは大切なことで、誰かに優しくする一つの手段のように思います。ただ子どもと遊ぶだけでなく、現状を知る機会をくださったことが、学生の私からする

と、とても有難かったです。(女性・保育協力)

## 保養ツアーに参加された ボランティアの皆さんから

### はちみつ會の保養は心のリフレッシュ！

はちみつ會のメンバーに誘われて、福島県の被災地に同行したのが今年の2月26～28日でした。南相馬市の福祉団体や川俣町・福島市で子育て中のお母さんへのヒアリングなどに同行しましたが、浪江町と双葉町も訪問でき、フクイチも国道から見る事が出来ました。飯館村も通過しましたが、人の住めない町は、実際に見ないとなかなかその実情が判らないなどの思いを実感しました。

さて、4月の町田市大地沢青少年センターでの保養には、写真撮影のボランティアとして参加しました。福島市でお会いしたお母さん方も参加していました。この日は晴天の穏やかな1日で、子供たちは自然の中、笑顔が素敵で、本当に楽しそうに過ごしていました。放射能の見えない影響の懸念もありますが、現地では外遊びに気を使うことが多いとのことですので、心のリフレッシュになっているんだな！というのが一番の感想です。現地に行ってから参加したので、そのことを強く感じた1日となりました。(男性・写真撮影協力)

### つながることの大切さ

「福島から来る子ども達と一緒に蕎麦を打ったら、楽しんでもらえるんじゃないの」——その一言が、新たな一期一会の機会を生み出してくれました。東日本大震災では、津波の犠牲のなった親戚の方々もいます。あれから月日ばかりが過ぎ、被災地に訪れる事も出来ず、ただただ月日のせわしさにかまけて、何も出来ていない、何もしようとしていない自分がいました。はちみつ會の企画に賛同し、何かやってみたい、素直に行動しようという気持ちになりました。

当日、妻と仲間達と福島の親子さん達と手打ち蕎麦を作りました。皆さんの表情は明るく朗らかで、そのことが嬉しくてあつという間のかげがえのない時間でした。これからの皆さんに何が自分出来るのかを今後も考え続けていくことが大事だと感じました。蕎麦を打つ、長く仕上げるには、技と心

が必要です。「つながった蕎麦」手打ち蕎麦の最高の褒め言葉です。人も蕎麦もつながることが貴い、もっともっとそうありたいと実感しました。(男性・蕎麦打ち教室協力)

## ●協力団体● \*順不同

公益社団法人会町田法人会 公益社団法人会相原支部 ハッピーストア 株式会社タウンツアーズ 生活クラブ運動グループ町田市地域協議会 パンの木 学生団体学生ボランティア団体あおぞら 福島こども支援・八王子 かあちゃんず 社会福祉法人共働学舎 ラ・リチェッタ ホリスティックセラピー パチュリ リフレクソロジー nagi ドルチェディアロマ アロマテラピーサロン リラクゼーションサロン ウォーミングタッチ アロマセラピー プチ・シャンブル La Ohana 推拿 整体 うたた寝 gomoku+ リンパティックケア サロン トロワエール 大留 由佳子 momyu-na 和光大学児童文化研究会 トランジションタウン まちださがみ やさいのナイトウ NPO法人「畑と田んぼの環境」再生会 蕎麦 はるき 風の畑 鶴二こどもの会 子どもセンターぱお 相原地区 町内会・自治会連合会 相原冒険遊びの会



トレス解消に来ているのに、福島体験を話してほしいって言うのかな、初めて会うボランティアの人達にお話ししてもらおうってどうなんだろう……大きな心配がありました。結局、到着したその日にお願ひしたのにも関わらず、全員の方たちが、3つのグループに分かれてお部屋でお話して下さいました。聞いた方からは、「全然、知らなかった」と涙を流して感想を言われる方もいました。

当日、聞きながら、お話し下さる皆さんに対して、申し訳ない気持ち、いろいろな気持ち、そして話して下さった深い感謝の思いが混ざって、凶らずも涙が出ました。ほんとにほんとにありがとうございます。

あの事故が無ければ、お会いする事もなかった人達と出会う不思議さ。その出会いには喜びを感じても、ふるさとが元には戻らず、先に不安を残す事が日本に起きた事。その事に今後も関わっていかうと思います。

「また、話す機会があればお話ししますよ」そう言って下さった笑顔、まぶしかったです。

## はちみつ會からのご挨拶

「学生ボランティアの仲間はみんな、子どもたちと楽しく遊んで良かったって言うってくれる。けど、福島のこども達がなんで町田に来てるのか、ほんとに感じてるかな」——そんな学生ボランティアリーダーの一言がきっかけで、今回のプログラムに「福島のお母さんの話を聞く時間」をつくりました。ス

**次回の保養ツアーは 2016年10月8日(土)~10日(月)です。**

**\*場所：大地沢青少年センター \*保育・料理などのボランティアを募集します。**

**【緊急！】ツアーの継続を支える資金が足りません。皆さまのご支援をお願いいたします。**

発行 はちみつ會 2016年7月

ホームページ <http://hachimitsukai.jimdo.com/> TEL 080-8898-7860 (八木)

◎寄付金振込先：ゆうちょ銀行 (ゆうちょ銀行から：00150-8-711082/他行から：〇一九支店 当座 0711082) いずれも口座名義：ハチミツカイ